

富士市の働き方の実態とその意識

～男女ともに活躍できる職場・地域づくり～

富士市男女共同参画都市宣言10周年記念事業
C分科会発表
2019/12/14

C分科会メンバーの思い

女性が働き続けられないのは、
どうして？



女性30代

新しい時代に向けて娘たちの
環境が整備されるように



男性70代

広い視野と見識を身に付けたい



男性30代

他の会社は
どうなんだろう？



女性30代

10年前から地域は男性中心…
変わらないのはなぜ？



女性70代

富士市内の企業における 「男女共同参画と働き方の現状」を調査しました！

- ▶ 日本全体では「働き方改革」の流れがあるが、富士市の実態を知りたい！
- ▶ 男女共同参画が進むことが働きやすさにつながればよい
- ▶ 実態を知るためにアンケートを実施しよう！



アンケートの基本情報

対象者	富士市在住・在勤の方
依頼先	市内16企業（男女共同参画を推進）、一般個人
業種	医療・福祉業、紙・パルプ業を含んだ製造業、金融・保険業、サービス業など
回収方法	Webアンケート
質問数	25問
回答期間	2019年8月7日～9月6日
回答者	219名 （男性116名、女性102名、回答しない1名）

アンケートから見えてきたこと

男女とも活躍できる
職場は働く意欲が高い

- 女性の管理職は求められている
- 仕事のやりがいや満足度が高い→男女共同参画度が高い傾向

ワークライフバランス
推進への希望

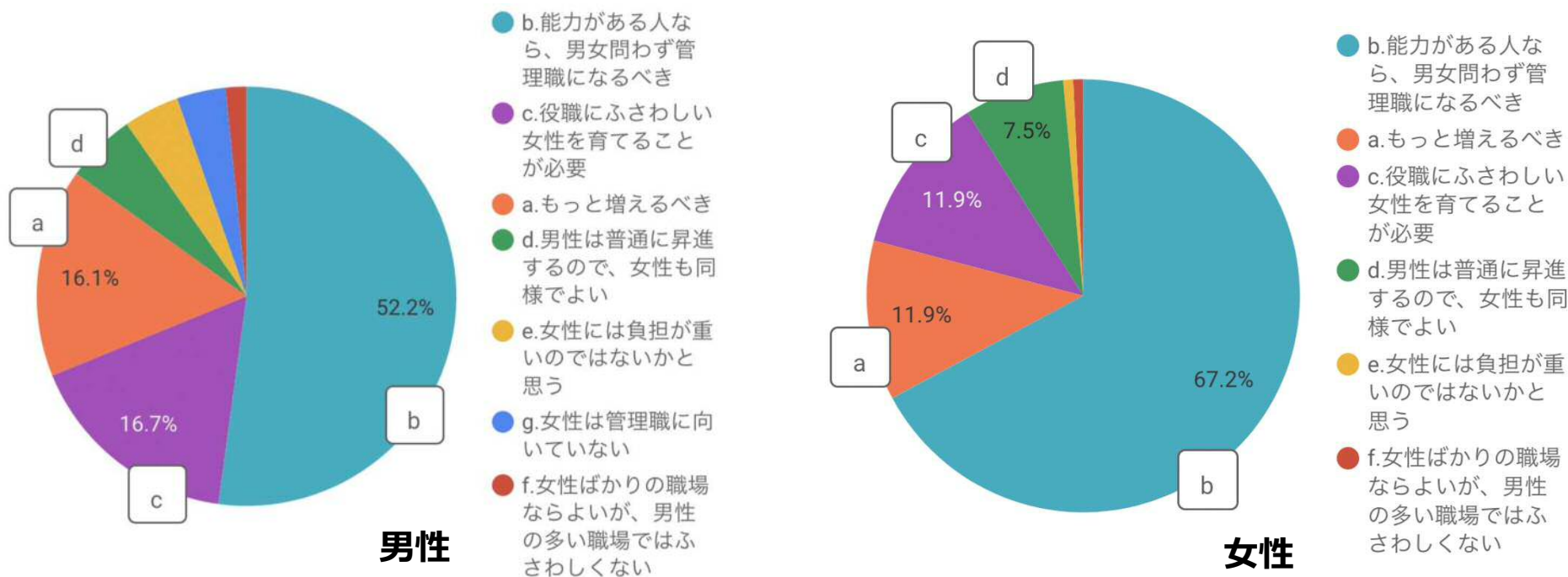
- 育児・介護しながら働きやすい環境を
- 男性も当たり前前に育休を取れるように

労働時間を減らし
家庭や地域へ配慮

- 働き方の工夫に男女差あり→得意なことを学び合う
- 誰もが参加しやすい地域に

①男女とも活躍できる職場は、働く意欲が高い

その1：女性の管理職は求められている！



Q. 女性が管理職になることについて、どのようにどのように考えますか

その1：女性の管理職は求められている！

- ▶ 女性の管理職になることについてのメリット
人的資源の活用
多様な視点をもつことで多方面のニーズに応えられる

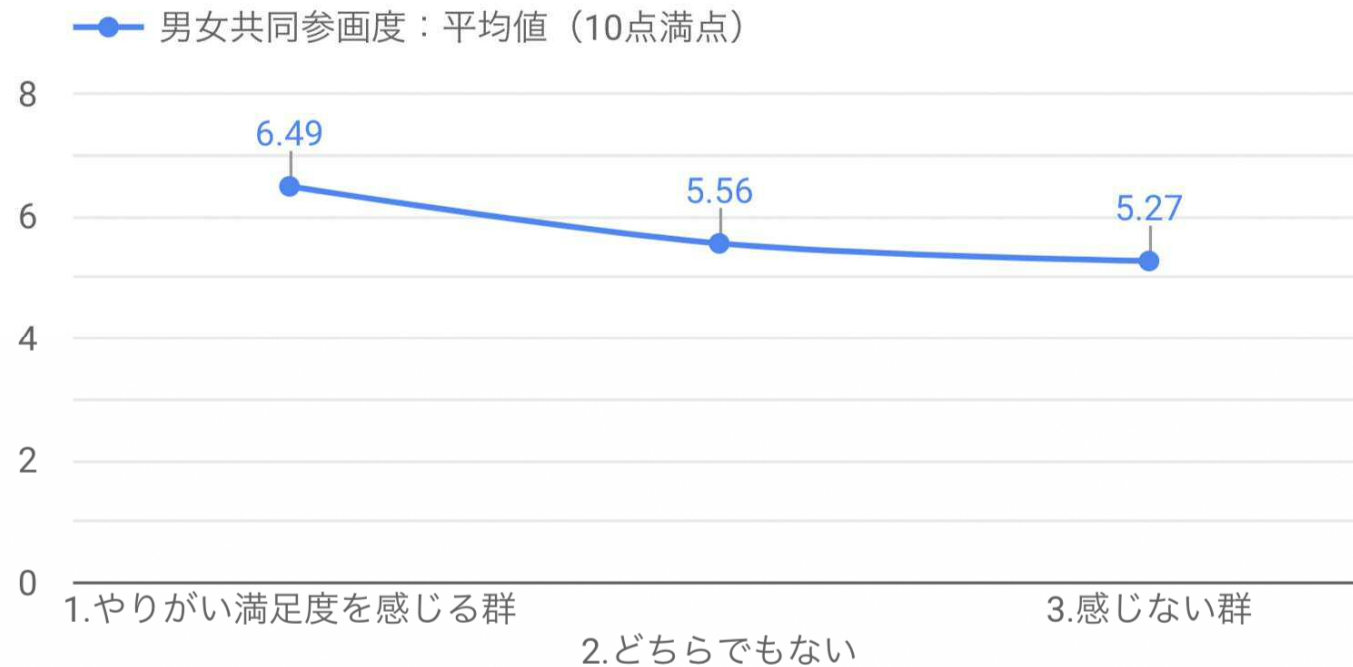
提案:企業としてインセンティブを感じるような、富士市の仕組みを
女性社員が自治体のキャリアセミナーへ参加できる後押し
→参加企業は社名を公表され、会社のPRにも

「管理職になって、成長のチャンスが増えました」
(実際に管理職になった分科会メンバーの声)

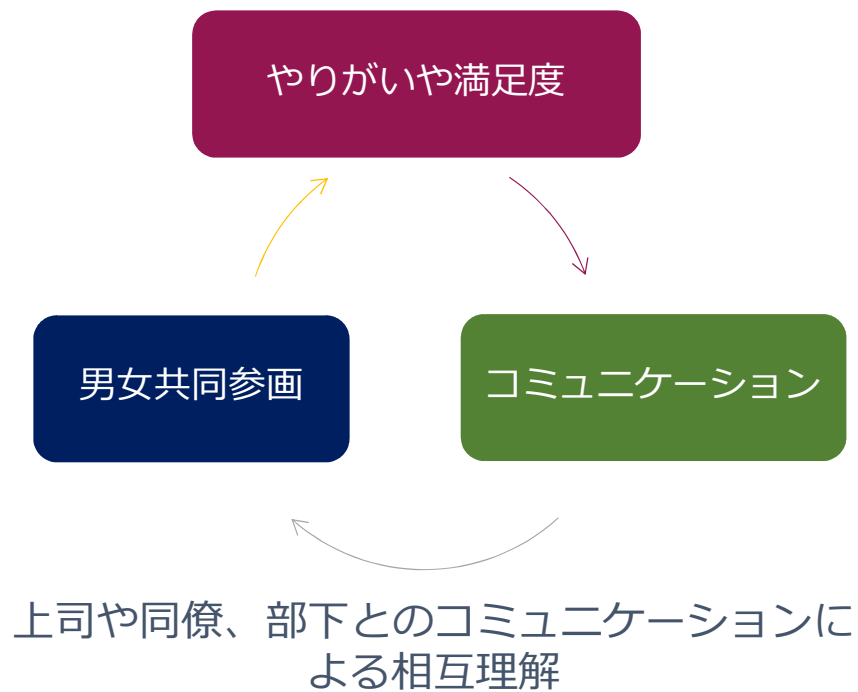


①男女とも活躍できる職場は、働く意欲が高い

その2：仕事のやりがいや満足度が高い→男女共同参画度が高い傾向



その2：仕事のやりがいや満足度が高い→男女共同参画度が高い



エピソード

私が「もっと成長させるべきじゃないだろうか？」「もっと社員を知っていくべきじゃないだろうか？」という話をしたら、成長率が20パーセント上がりました。その程度には、社長の心持ち次第で成長率は変わります。

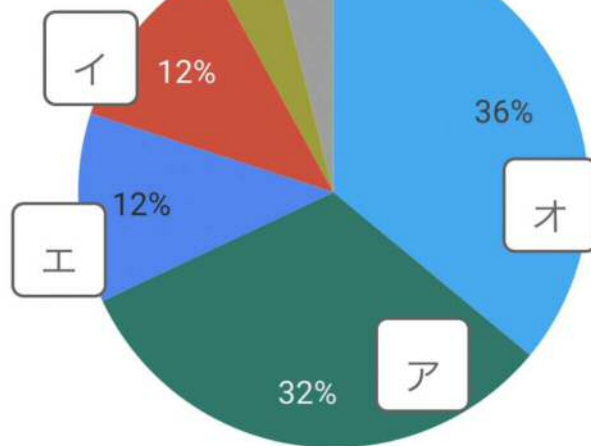
IVS 2018 Winter Kanazawa IVS DOJO
さくらインターネット株式会社・田中邦裕氏講演にて
<https://logmi.jp/business/articles/320444>

②ワークライフバランス推進への希望

その1：育児・介護しながら働きやすい環境

男性

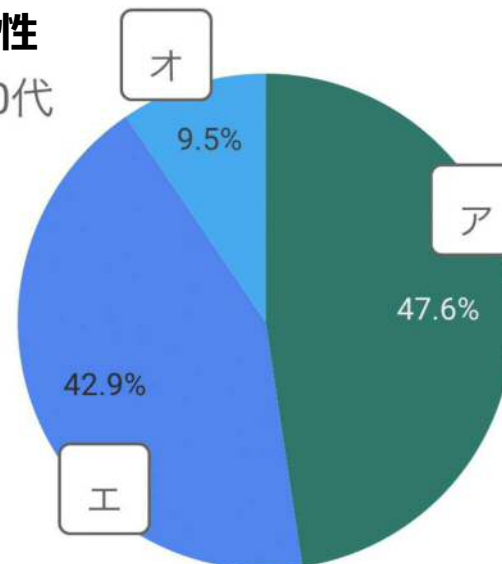
30代



- オ.どちらかといえば男性の方が優遇
- ア.男女平等である
- エ.男性の方が優遇されている
- イ.女性の方が優遇されている
- ウ.どちらかといえば女性の方が優遇
- カ.職場に男性(女性)のみのため、...

女性

30代



- ア.男女平等である
- エ.男性の方が優遇されている
- オ.どちらかといえば男性の方が優遇

Q：「昇進・能力発揮の機会において、男女平等についてどう感じますか」

その1：育児・介護しながら働きやすい環境を

静岡県の事例：静岡トヨペット株式会社

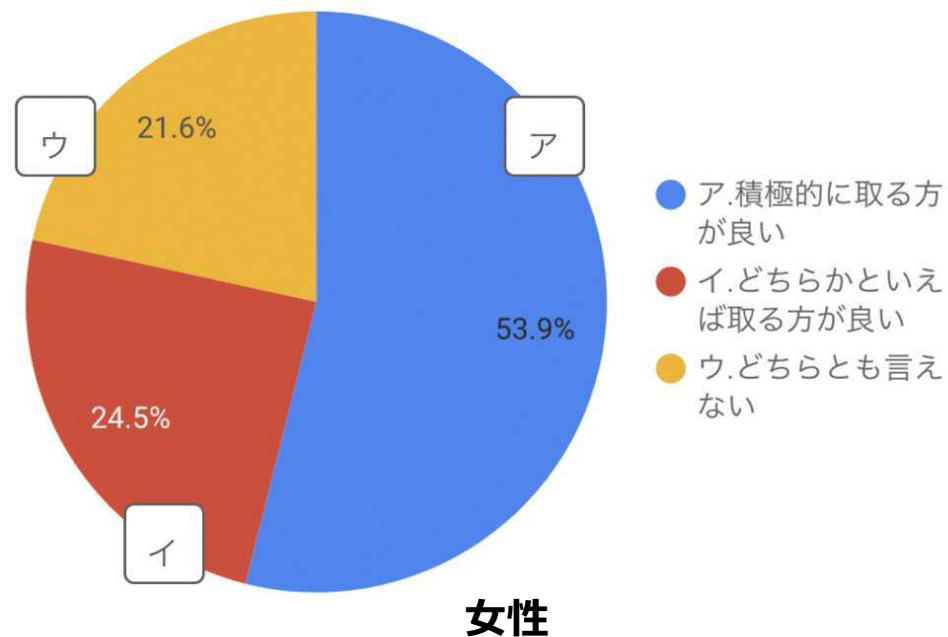
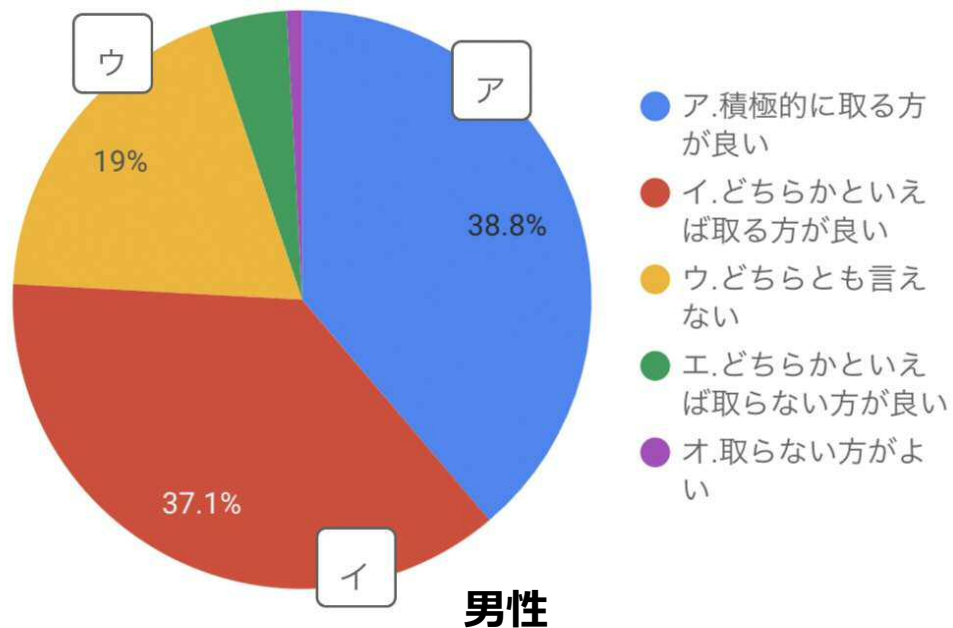
半日や時間単位で取得できる有給制度や就業
時間を選択できる短時間勤務制度

女性活躍推進のための 手引き - 2019年)2月 静岡県くらし・環境部県民生活局男女共同参画課

▶ 制度にただ甘んじるのではなく、周囲への敬意と、
継続して働きたい意志を示していくことが大切

②ワークライフバランス推進への希望

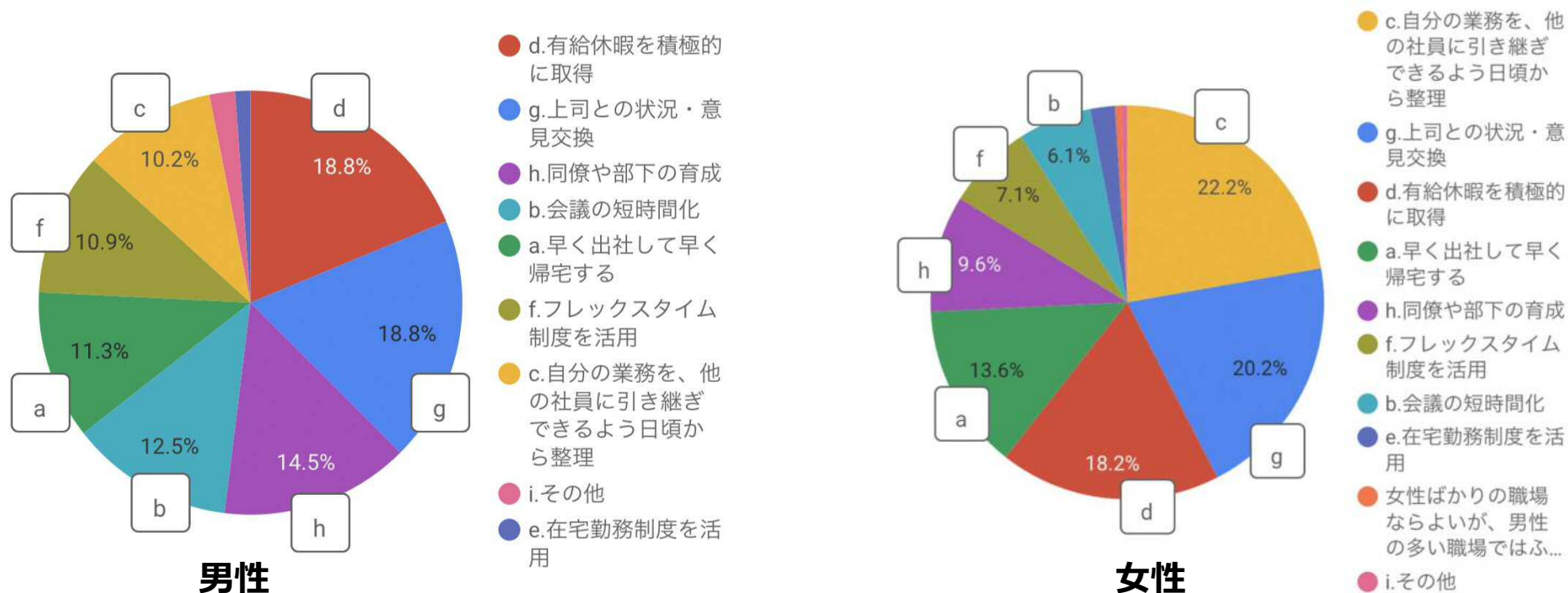
その2：男性も当たり前前に育休を取れるように



Q:男性が育児休業や介護休暇を取ることに、どのように考えますか

③労働時間を減らし、家庭や地域へ配慮する

その1：働き方の工夫に男女差がある→得意なことを学び合う



Q:あなたが取り組んでいる働き方の工夫を教えてください

その1：働き方の工夫に男女差がある→得意なことを学び合う

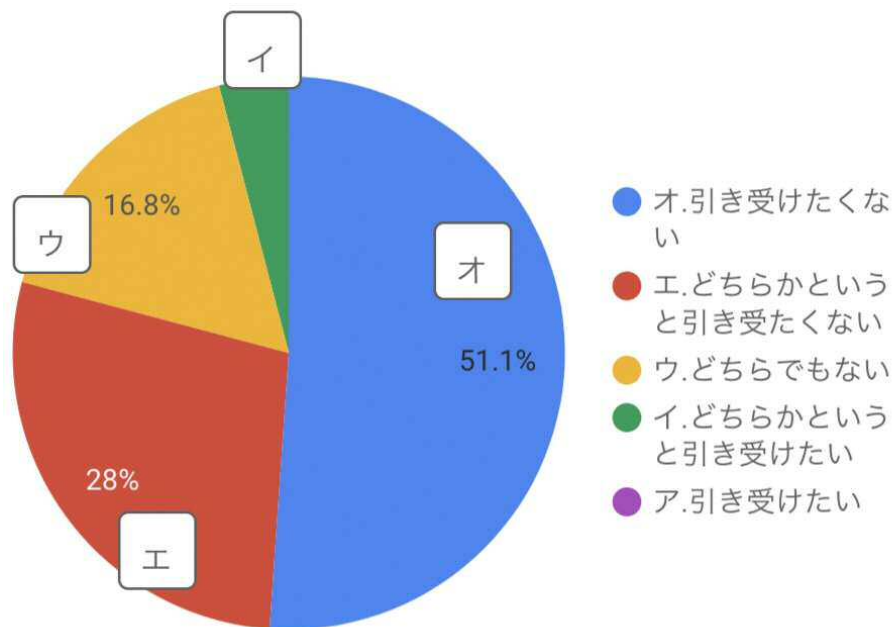
働き方を工夫し、長時間労働に頼らず、成果を出す意識へ

- ▶ 労働時間が減ることで、家庭への参加や地域参加を促す
- ▶ 男女とも子ども達に関わる時間も増える
- ▶ 家庭や地域で得たものが活力やアイデアになる
→仕事の成果につながる！



③労働時間を減らし、家庭や地域へ配慮する

その2：誰もが参加しやすい地域に



- ▶ 町内会・自治会の役員を「引き受けたくない」もしくは「どちらかというと引き受けたくない」と、全体の79.1%が回答
- ▶ 様々な方法で参加できるような体制
例) 若い世代が空き時間に地域活動へお助け参加できる「緑進会」
- ▶ 働き方改革を参考にした効率化

アンケートから見えてきたこと

男女とも活躍できる
職場は働く意欲が高い

- 女性の管理職は求められている
- 仕事のやりがいや満足度が高い→男女共同参画度が高い

ワークライフバランス
推進への希望

- 育児・介護しながら働きやすい環境を
- 男性も当たり前前に育休を取れるように

労働時間を減らし
家庭や地域へ配慮

- 働き方の工夫に男女差あり→得意なことを学び合う
- 誰もが参加しやすい地域に

男女ともに能力を発揮するには

一人ひとりがお互いの
望む生き方を思い
尊重しましょう



- ▶ 職場には「働きながら、仕事以外の責任や要望が果たせる」環境が求められる
- ▶ 職場でも地域でも 多様な働き方を
 - ▶ 今後さらに育児や介護をしながら働く人が増えるなか働きたい人が自分の働き方をその都度、柔軟に選べる社会をめざす！